



# なすびの花



発行者：検査課

掲示期限：令和元年8月30日 (金)

掲示許可：総務課

## 2018年度総括：品質保証推進室長

日頃は、品質保証活動へのご協力をありがとうございます。

外観検査の内容・ポカヨケ・防災・CSR・社内コミュニケーション等、普段色々意識をしておりますが、この「なすびの花」を読んだ時に、自分の態度が鈍くなっていることに気付くこともあり、気持ちを引き締めなくてはならないと反省をする時もありました。

QCDの事が書かれていた時は、当たり前ですが、品質・価格・納期の三つのどれ一つ欠けてもダメ、これに対して、機械化の推進を強く感じ、特に今期は色々な会社様への見学も行い、とても良い勉強になりました。

2018年度につきましては、当社の主力製品の一つが、過去最高の数値になる見通しで、昨年の夏頃から年末にかけては、非常に忙しい状況が続き、皆様には色々ご無理を申し上げましたが、快く対応していただき、感謝しています。

昨年は、私が当社に入社以来初めての経験でしたが、会社の周りの山が、土砂崩れを起こし、非常に危険な状態になりました。近年の異常気象は、大きな災害を招く恐れもあり、当社においても、防災の意識を高める必要があると感じております。

皆様におかれましても、防災への意識を更に高めて頂きますよう、よろしくお願いいたします。

来期にかけても、A社様の仕事が、今期以上になる事が予測されます。お盆明けから年末にかけて、昨年以上のご無理をお願いするようなケースもあると思います。また、今期、新たに営業のHさん・品証のEさんが入社され、今後新たな製品も増えていき、今までに経験のない作業が発生して行くこともあると思いますが、何卒ご協力のほど、重ねてよろしくお願いたします。



## 今年度の品質まとめ

2018年度も今月で終了となります。今年度は、色々な品質問題が発生していた1年間であったように思います。

それぞれの部署で、自分たちを見つめ直すことも多かったのではないのでしょうか。不思議なもので、ひとつ問題が起こると、連鎖的に次々と問題が起こってしまうということがよくあります。そして、立て直すものもなかなかうまくいかない、といった状況に陥ります。

しっかりと問題に向き合い、焦らずに本当の問題点を探し出し、的確な改善処置をしなければ、また同じようなミスを繰り返したりしてしまいます。ミスを起こしたくても起こせないような改善を考えなくてはなりません。

一方、今年度の目玉としましては、他社様の工場見学などに積極的に取り組み、ヒントを得て、工場内・部署内の整備などの改善活動が、各部署で意欲的に行われて、作業工数も減り、作業もし易くなったことは、大きな成果です。

また、本社工場の床面のペンキ塗り替えや、壁紙の貼り替えも、従業員の手で行われ、工場内部も生まれ変わったように、美しくなっています。自分たちで考え、自分たちの手で改善したということが、自信にもつながっているように感じます。

『ピンチは最大のチャンス』と言いますが、ミスは、何が足りなかったのか、どこが間違っていたのかを教えてください。

今年度の反省を活かして、来年度は、更に大きく飛躍できる1年を送れるように、全員一丸となって頑張りましょう！



## ISO監査のご報告

今年度のISO認証監査は、

7月23日(火)24日(水)の二日間でした。

全体的なまとめとしては、品質・環境ともに、概ね維持・運用しているとの総評をいただきました。

設備の校正に関しての軽微な不適合が一点ありましたが、認証を取り消されるようなものではありませんでした。

品質環境マニュアルの運用について、実際の業務とのギャップが見られたようなこともあったようです。

品質環境マニュアルは、各部署の取り扱い説明書のようなものですので、社員の皆様は、各部署において、品質環境マニュアルの自部署の部分をいま一度確認し、現状と違う箇所がございましたら、事務局までご連絡ください。

## 夏季休暇

8月10日(土)～8月18日(日)

皆さま、長くい休み明けも元気なお顔で入社してくださいね



## 7月～8月人事報告

—退職—

8/9付

## 《予告》

現在、「品質壁新聞」と位置づけておりますが、環境に関する内容も多く取り扱っております。来年度より総務課とも連携し、「品質環境壁新聞」という位置づけにいたします。記事に関しましても、更にオープンにしていきたいと思っています！

